

中学2年 社会 授業用プリント ⑤ 江戸幕府の成立と鎖国

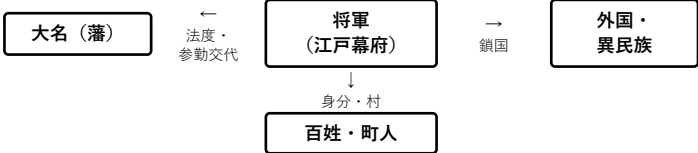
1 全体像	2・3 幕府のしくみ	4・5 鎖国への道	6・7 長崎と朝鮮	8・9 琉球とアイヌ	10・11 身分と暮らし	12 まとめ
-------	------------	-----------	-----------	------------	--------------	--------

1 この単元の全体像 ― なぜ、江戸時代は約260年も続いた？

このページのゴール 関ヶ原の戦いから鎖国までの流れと、この単元で学ぶ5つのことを言える

④では、豊臣秀吉（とよとみひでよし）が全国を統一したことを学びました。秀吉の死後、徳川家康（とくがわいえやす）が関ヶ原の戦いに勝って江戸幕府を開きます。幕府は、大名・外国との関係・人々の身分と暮らしをおさえるしくみをつくり、江戸時代は約260年続きました。江戸時代の終わりは⑧で学びます。

安土桃山時代	江戸時代（1603～1867年）					
1600年	1603年	1615年	1635年	1637年	1639年	1641年
関ヶ原の戦い（2）	江戸幕府が開かれる（2）	大阪の陣・武家諸法度（2・3）	参勤交代・海外渡航の禁止（3・5）	島原・天草一揆（5）	ポルトガル船の来航禁止（5）	オランダ商館を出島へ（6）



① 江戸幕府のしくみ くわしくは2・3ページ
幕府が、大名や朝廷をどのようにおさえたかを学びます。

② 鎖国への道 くわしくは4・5ページ
貿易をすすめた幕府が、なぜ鎖国をしたのかを学びます。

③ 長崎と朝鮮 くわしくは6・7ページ
鎖国の中の、オランダ・中国・朝鮮との付き合い方を学びます。

④ 琉球とアイヌ くわしくは8・9ページ
琉球王国とアイヌの人々が、幕府とどう関わったかを学びます。

⑤ 身分と暮らし くわしくは10・11ページ
人々が身分に分けられ、村でどう治められたかを学びます。

この単元の問い なぜ、江戸時代は約260年も続いた？（答えは12ページ）

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91%e6%b1%9f%e6%88%b8%e5%b9%95%e5%ba%9c%e3%81%ae%e6%88%90%e>

2 徳川家康は、どのように全国を支配するしくみをつくった？

このページのゴール 関ヶ原の戦いから大阪の陣までの流れ、幕藩体制、大名の置き方を言える

① 江戸幕府の成立

- ① 1598年 ④で学んだ豊臣秀吉が亡くなり、徳川家康が力を強める
- ② 1600年 関ヶ原の戦いで、家康が石田三成（いしだみつなり）らを破る
- ③ 1603年 家康が朝廷から征夷大將軍（せいいたいしょうぐん）に任じられ、江戸に江戸幕府を開く
- ④ 1605年 家康が將軍の職を子の秀忠（ひでただ）にゆずり、徳川家が將軍を受けつぐことを示す
- ⑤ 1615年 大阪の陣（冬の陣・夏の陣）で、豊臣氏をほろぼす

関ヶ原の戦い＝1600年、家康が石田三成らを破った、天下分け目の戦い

② 幕府の力と、大名の置き方

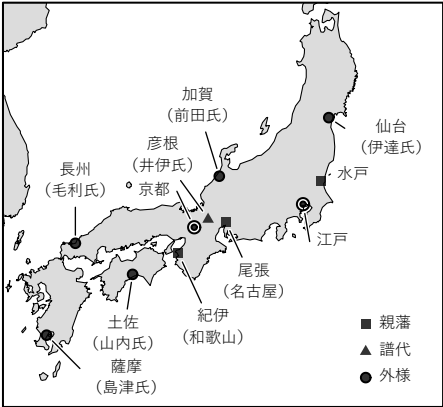
幕府は、全国の重要な所に直接の領地（幕領）をもち、重要な都市と主な鉱山を直接支配して、金貨・銀貨をつくりました。將軍の直接の家臣は旗本と御家人で、どちらも1万石未満の武士です（石＝米の量。④）。

幕藩体制＝將軍から1万石以上の領地をあたえられた武士を大名、大名の領地とそれを支配するしくみを藩といい、將軍（幕府）と大名（藩）が全国の土地と人々を支配したしくみ

幕府は大名を3つに分けました。地図は、江戸（◎）からの近い・遠いで読みます。

区分	徳川家との関係	置かれた所
親藩	徳川家の一族の大名（なかでも尾張・紀伊・水戸は御三家）	江戸の近くや重要な所
譜代大名	関ヶ原の戦いより前から徳川家の家臣だった大名	江戸の近くや重要な所。老中などの役職につく
外様大名	関ヶ原の戦いのころから徳川家に従った大名	東北・中国・四国・九州など、江戸から遠い所に多い

合言葉 「一族は親藩、古い家来は譜代、新しく従った外様」



地図：Natural Earth

注意 × 外様大名は、徳川家の一族だ → ○ 一族は親藩。外様は、関ヶ原のころから従った大名

→ まとめ：幕府は大名を3つに分け、外様大名は江戸から遠い所に多く置いた

3 幕府は、大名や朝廷をどのようにおさえた？

このページのゴール 武家諸法度と参勤交代の中身とねらい、朝廷のおさえ方、幕府のしくみを言える

① 大名をおさえる決まり

武家諸法度（ぶけしよはつと）＝1615年、幕府が定めた、大名が守る決まり。城の修理には幕府への届け出が要り、新しく城を築くことや、幕府の許可のない大名どうしの結婚が禁じられた。違反した大名は、領地を取り上げられたり（**改易**）、別の土地に移されたりした

城は戦いのとりでになります。大名が城を固めたり、結婚で結びついたりすると、幕府に反抗する力になるので、それを防ぐ決まりでした。

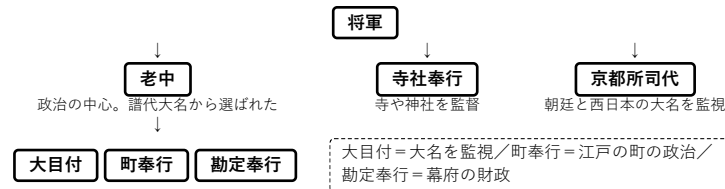
参勤交代（さんきんこうたい）＝1635年、3代将軍**徳川家光**が武家諸法度を改めて制度にした、大名が原則として1年おきに領地と江戸を行き来する決まり

- ① 大名が、大名行列を組んで領地から江戸へ向かい、江戸の屋敷で将軍に仕える
- ② 原則として1年たつと領地にもどる。妻や子は、江戸の屋敷に住まわされ続ける
- ③ 往復や江戸での生活に多くの費用がかかり、藩の財政の負担になる。大名は力をたくわえにくく、幕府に反抗しにくくなる

参勤交代は、将軍と大名の主従関係を確認する意味もあり、江戸の文化が地方に広まるものにもなりました（⑥）。

② 朝廷と寺社、幕府のしくみ

1615年、幕府は**禁中並公家中諸法度**（きんちゅうならびにくげしよはつと）で天皇や公家の行動を制限し、**京都所司代**（きょうとしよしだい）に朝廷を監視させました。天皇は政治の実権をもたず、学問や儀式が中心になりました。寺や神社は**寺社奉行**が監督しました。



注意 × 参勤交代では、大名の妻や子は領地に残り、大名だけが江戸に行った → ○ 妻や子は、江戸の屋敷に住まわされた

合言葉 「法度で城と結婚、参勤交代でお金を使わせる」

→ まとめ：大名は力をたくわえにくく、幕府に反抗しにくくなった

4 江戸幕府は、初め外国とどう付き合った？

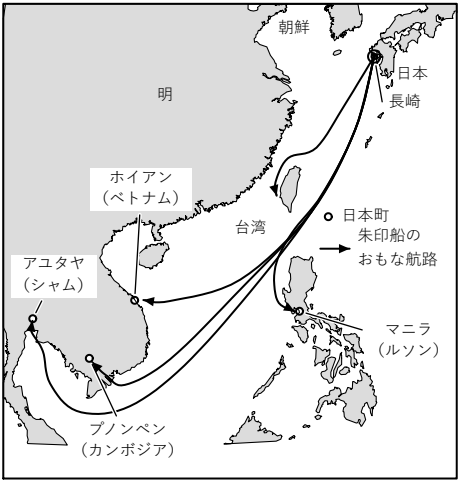
このページのゴール 朱印船貿易と日本町、来日した国々、キリスト教を禁止したわけを言える

④のパテレン追放令の後も、貿易は続きました。家康も、初めは貿易をすすめました。

① 朱印船貿易

朱印船貿易＝家康が、大名や豪商に、海外へ渡って貿易することを許す朱印状（しゅいんじょう）をあたえ、朱印状をもった船（朱印船）が東南アジアの各地に出かけた貿易。日本人が移り住んだ所には日本町ができた

輸入は中国産の生糸・絹織物・砂糖・鹿の皮など、輸出はおもに銀でした。



地図：Natural Earth

② ヨーロッパの国々と、キリスト教の禁止

国	宗教 (④)	日本に来た時期	その後
ポルトガル	カトリック	1543年から (④)	5ページ
スペイン	カトリック	16世紀の終わりから	5ページ
オランダ	プロテスタント	1609年 平戸（長崎県）に商館を置く	6ページ
イギリス	プロテスタント	1613年 平戸に商館を置く	1623年に日本を去る

- ① 家康は初め、貿易の利益のため、キリスト教の布教を黙認する
- ② 信者の団結や、スペイン・ポルトガルによる侵略をおそれる
- ③ 1612年、幕府の領地でキリスト教を禁止する
- ④ 1613年、禁止を全国に広げる（禁教令）。宣教師を国外に追放し、信者に信仰を捨てさせる

注意 ×家康は、幕府を開くとすぐキリスト教を禁止した → ○初めは黙認。禁止は1612・1613年

合言葉 「朱印状で東南アジアへ、日本町ができる」

→ まとめ：幕府は、貿易の利益は求めたが、キリスト教が広まることはおそれた

1 全体像	2・3 幕府のしくみ	4・5 鎖国への道	6・7 長崎と朝鮮	8・9 琉球とアイヌ	10・11 身分と暮らし	12 まとめ
-------	------------	-----------	-----------	------------	--------------	--------

5 幕府は、なぜ「鎖国」をした？

このページのゴール 鎖国の体制が固まるまでの流れ、島原・天草一揆、絵踏と宗門改、鎖国の2つのねらいを言える

① 鎖国への流れ

禁教の後、幕府は外国との付き合いを少しずつ限りました。

- ① 1613年 全国でキリスト教を禁止する
- ② 1616年 ヨーロッパの船の来航を平戸と長崎に限る
- ③ 1624年 スペイン船の来航を禁止する
- ④ 1635年 日本人の海外への渡航と帰国を禁止する
- ⑤ 1637年 島原・天草一揆が起こる
- ⑥ 1639年 ポルトガル船の来航を禁止する
- ⑦ 1641年 平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す



踏絵
(マリアの像をはめた板)
写真：Chris 73 (CC BY-SA 3.0)。Wikimedia Commons
より、白黒にして切り取った

② 島原・天草一揆と、鎖国のねらい

島原・天草一揆＝1637年、島原（長崎県）と天草（熊本県）で、キリスト教の信者を中心とする人々が、重い年貢の取り立てと、信者へのきびしい取りしまりに反対して起こした一揆。もとはキリシタン大名の領地で、人々は天草四郎（益田時貞）という少年をかしらに原城にたてこもり、幕府が1638年にしずめた

幕府は、信者を見つけ出すため、キリストやマリアの像（踏絵）をふませる絵踏（えぶみ）を長崎などで行い、人々を仏教の寺に属させて信者でないことを証明させました（宗門改）。

鎖国＝幕府が、キリスト教を禁止し、外国との行き来と貿易を自分の手でおさえるため、日本人の海外への渡航を禁じ、貿易の相手と場所を限った体制。ヨーロッパの国ではオランダだけが長崎の出島で貿易を許され、中国の船も長崎に来た。「鎖国」は後の時代にできた言葉

ねらい① キリスト教の禁止を徹底する	ねらい② 幕府が貿易の利益と海外の情報をひとりじめし、西日本の大名が貿易で力をつけるのを防ぐ
--------------------	--

注意 × 鎖国で、日本は外国との行き来を全部やめた → ○ 長崎・対馬藩・薩摩藩・松前藩の4つの窓口で、限られた国や民族との行き来は続いた（7ページ）

合言葉 「禁教 → 一揆 → ポルトガル船の来航禁止 → 出島」

→ まとめ：幕府はキリスト教を禁じ、外国との行き来と貿易を自分の手でおさえた

6 鎖国の中で、長崎ではどんな貿易が行われた？

このページのゴール オランダと中国が長崎で貿易を許されたわけ、出島と唐人屋敷、オランダ風説書、貿易品を言える

5ページで見たように、ヨーロッパの国ではオランダだけが、長崎の出島で貿易を許されました。長崎は幕府が直接支配し、長崎奉行が治めました。

① 出島とオランダ

出島（でじま）＝長崎の港につくられた扇形の埋め立て地（人工の島）。初めはポルトガル人を住まわせるためにつくられ、1641年から平戸のオランダ商館が移された。オランダ人は出島から自由に出ることはできず、日本人の出入りも限られた



出島
（長崎の港の扇形の埋め立て地）

絵：Wellcome Collection (CC BY 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にした

オランダが許されたのは、④で学んだプロテスタントの国で、布教をせず貿易だけを行ったからです。

オランダ風説書（ふうせつがき）＝オランダ商館長が、海外のできごとをまとめて幕府に出した報告書。幕府はこれで海外のようすを知った

② 中国との貿易

1644年、中国では明がほろび、清が中国を支配しました。中国の商人の船は長崎に来て貿易を行い、1689年からは、中国の商人を**唐人屋敷**（とうじんやしき）に住まわせました。

③ 長崎の貿易品

	輸入	輸出
長崎の貿易	生糸・絹織物・砂糖・薬・書物など	おもに銀・銅
	オランダ	中国
住んだ所	出島	唐人屋敷（1689年から）
来た人	商館の人々（商館長は江戸へ）	商人（船で長崎へ）

注意 × 鎖国の中で、オランダ人は日本の各地を自由に行き来して商売をした → ○ 出島に住まわされ、自由に出られなかった（商館長は將軍へのあいさつで江戸へ行った）

合言葉 「オランダは出島、中国は唐人屋敷」

→ まとめ：幕府は長崎の貿易と海外の情報をひとりじめした

7 朝鮮とはどのように国交を回復し、鎖国の窓口はどこにあった？

このページのゴール 朝鮮との国交の回復、朝鮮通信使、倭館での貿易、4つの窓口を言える

① 朝鮮との国交

- ① 秀吉の朝鮮侵略（④）で、朝鮮との国交がとだえる
- ② 家康が、**対馬藩**（つしまはん。宗氏）の仲立ちで、国交を回復する
- ③ 将軍が代わるとなどに、朝鮮から使節が江戸に送られる
- ④ 対馬藩が、朝鮮の釜山（プサン）に置かれた**倭館**（わかん）で、朝鮮と貿易する

朝鮮通信使＝将軍が代わるとなどに、朝鮮から江戸に送られた使節。各地で歓迎され、日本の学者との学問や文化の交流も行われた

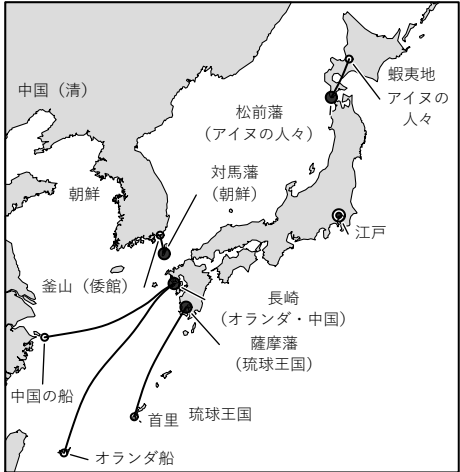
倭館では、朝鮮から木綿や朝鮮にんじん（薬の原料）を、日本から銀や銅を送って貿易しました。

② 鎖国の中の4つの窓口

鎖国の中でも、幕府が認めた4つの窓口で、外国や異民族との行き来が続きました。

窓口	相手
長崎（幕府が直接）	オランダ・中国
対馬藩	朝鮮
薩摩藩	琉球王国（8ページ）
松前藩	アイヌの人々（9ページ）

窓口と相手の組み合わせは、下の地図で、窓口からのびる線をたどって確かめます。2ページの地図の長州・土佐は外様大名の藩で、窓口ではありません。



注意 × 朝鮮との交流の窓口は、薩摩藩だった → ○ 窓口は対馬藩（薩摩藩は琉球王国）

合言葉 「朝鮮は対馬、琉球は薩摩、アイヌは松前」

→ まとめ：鎖国の中でも、幕府が認めた4つの窓口で、外国や異民族との行き来が続いた

8 琉球王国は、なぜ日本と中国の両方とつながった？

このページのゴール 薩摩藩が琉球王国を支配したことと、琉球が中国への朝貢を続け、江戸に使節を送ったわけを言える

中1で学んだ琉球王国は、1429年に成立し、首里（しゅり）を都に中継貿易でさかえました。

① 薩摩藩の琉球支配

琉球王国と薩摩藩＝1609年、薩摩藩（島津氏）が軍を送って琉球王国を征服した。王国は国として残し、中国（明・清）に貢ぎ物を送る関係（朝貢）と貿易を続けさせて、その利益を得た。黒砂糖なども納めさせた



② 琉球使節

琉球使節＝将軍や琉球の国王が代わるごとに、琉球から江戸に送られた使節。中国風の服装や行列をさせられ、幕府は異国の使いが来たように見せて、権威を高めた

琉球の文化には、三線（さんしん。④の三味線のもと）や首里城（中1）があります。写真は、首里にある守礼門（しゅれいもん）です。



首里城の守礼門
(沖縄県那覇市。戦後に復元)
写真：663highland (CC BY 2.5)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

注意 × 薩摩藩は琉球王国をほろぼし、中国との関係をやめさせた → ○ 王国は国として残し、中国との朝貢と貿易を続けさせて、その利益を得た

合言葉 「1609年、薩摩が琉球を従える」

→ まとめ：幕府は薩摩藩を通じて、琉球と中国との関係もおさえた

9 アイヌの人々と松前藩は、どんな関係だった？

このページのゴール 松前藩がアイヌの人々との交易を独占したこと、シャクシャインの戦い、アイヌの文化と今につながる取り組みを言える

中1で学んだアイヌの人々は、狩りや漁と交易で暮らし、1457年にコシャマインの戦いを起こしました。

① 松前藩との交易

蝦夷地（えぞち）＝アイヌの人々が住んでいた、今の北海道をさす、江戸時代のよび名。その南部の松前藩（まつまえはん）が、幕府から、アイヌの人々との交易の独占を認められた

アイヌの人々がわたした物	松前藩がわたした物
さけ・こんぶ・毛皮など	米・酒・木綿・鉄製品など

この交換は、アイヌの人々に不利な取引が多いものでした。

② シャクシャインの戦い

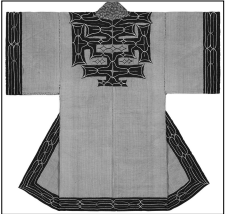
シャクシャインの戦い＝1669年、首長（しゅちょう）のシャクシャインを中心に、アイヌの人々が、不利な取引に反対して松前藩と戦った。松前藩は鉄砲などを使っておさえ、その後、アイヌの人々は、いっそう不利な取引をしいられた

③ アイヌの文化と、今につながる取り組み

アイヌ語や、口伝えの物語（ユウカラ）、木彫りや刺しゅうの文様が受けつがれています。北海道には、アイヌ語から来た地名が多く残っています（札幌・稚内・知床など）。

2019年、アイヌの人々を先住民族と明記した法律ができ、2020年、北海道の白老町（しらおいちょう）に、アイヌの文化を伝える施設（ウポポイ）が開かれました。日本の文化は、アイヌの文化もふくめた多様なものです。

合言葉 「1669年、シャクシャインが立ち上がる」



アットゥシ
（木の皮の布の着物。19世紀）
写真：ミネアポリス美術館の所蔵品
（パブリックドメイン）。Wikimedia
Commons より、白黒にした

注意 × アイヌの人々は、松前藩と対等な条件で取引をした → ○ 不利な取引が多く、1669年にシャクシャインの戦いが起こった

→ まとめ：幕府は松前藩を通じて、蝦夷地との交易もおさえた

10 江戸時代の人々は、どんな身分に分けられた？

このページのゴール 武士・百姓・町人の身分と役割、身分が親から子へ受けつがれたこと、差別された人々がいたことを言える

④で学んだ検地と刀狩によって、武士は城下町に、百姓は村に住むように分けられました（兵農分離）。この区別が、江戸時代には身分のしくみとして固まりました。

① 武士・百姓・町人

江戸時代の人々は、武士・百姓・町人などの身分に分けられた。百姓は人口の大部分を占め、身分は親から子へ受けつがれ、変えることはむずかしかった

身分	住んだ所	おもな仕事	決まりや負担
武士	城下町	政治と軍事	名字を名のり、刀を差すこと（名字・帯刀）が認められた
百姓	農村・漁村・山村	農業など	年貢を納めた
町人	城下町など	商業や物づくり	町の負担を受けもった

ほかに、公家・僧・神官などもありました。

② 差別された人々

百姓や町人とは別に、えた身分やひにん身分とされた人々もありました。住む所や服装、交際などできびしく差別されましたが、農業や、皮革の仕事、役人の下働き、芸能などをして、社会を支えました。

③ 身分と支配

幕府や藩は、身分ごとに役割と負担を決めて、社会を治めました。身分は、「住んだ所・おもな仕事・負担」の3つを表と見くらべると見分けられます。

例（架空）

Hさんは、農村に住み、農業をして年貢を納めている → 百姓

Iさんは、城下町に住み、政治や軍事の仕事をし、刀を差している → 武士

注意 ×江戸時代は、百姓でも自由に武士になることができた → ○身分は親から子へ受けつがれ、変えることはむずかしかった

合言葉 「武士は政治、百姓は年貢、町人は商い」

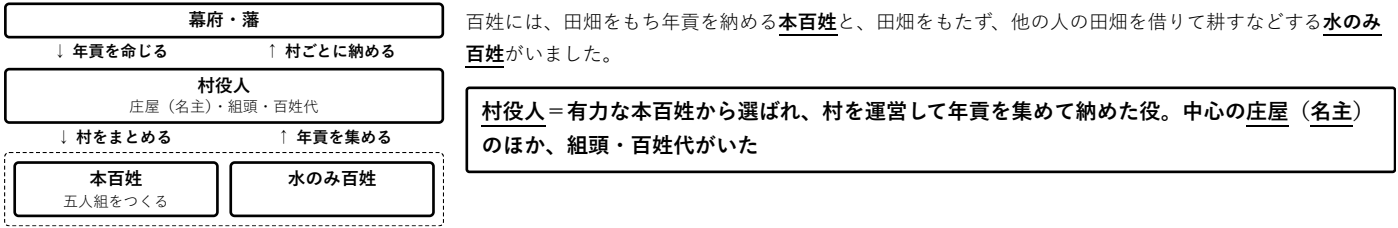
→ まとめ：人々を身分で分け、それぞれに役割と負担を決めて社会を治めた

11 幕府や藩は、百姓をどのように治めた？

このページのゴール 村のしくみ（村役人・本百姓と水のみ百姓）、年貢の納め方、五人組、年貢のための決まりを言える

10ページで見たように、百姓は人口の大部分を占め、年貢を納める身分でした。幕府や藩は、その百姓をどのように治めたのでしょうか。

① 村のしくみ



② 村の暮らしと五人組

田植えや稲かり、用水路や山林の管理は、一人ではできないので、村の人々が共同で行いました。そのため、村おきて（村の決まり）がつくられました。年貢はおもに米で納め、村ごとに村役人が集めて、幕府や藩に納めました。

五人組＝幕府や藩が、数戸ずつを1組にしてつくらせた組。年貢を納めることや犯罪を防ぐことに、連帯して責任を負わせた

③ 年貢のための決まりと、町人

幕府や藩は、年貢を安定して取り立てるため、百姓の暮らしにさまざまな決まりを設けました。例えば1643年には、田畑の売り買いを禁じました。決まりのねらいを考えると、「その決まりがないと、年貢にどんな問題が起こるか」を考えます。五人組も、年貢を納めない家が出ないように、組で責任を負わせたしくみだと読めます。

城下町には、武士の町・町人の町・寺の町などがあり、町役人が町を運営しました。町人には、土地や家をもつ人と、家を借りる人がいました。

注意 × 年貢は、百姓が1人ずつ江戸の幕府に直接納めた → ○ 村ごとに村役人が集めて、幕府や藩に納めた

合言葉 「村役人が集めて、五人組で連帯」

→ まとめ：幕府や藩は、村のしくみを使って、年貢を確実に取り立てた

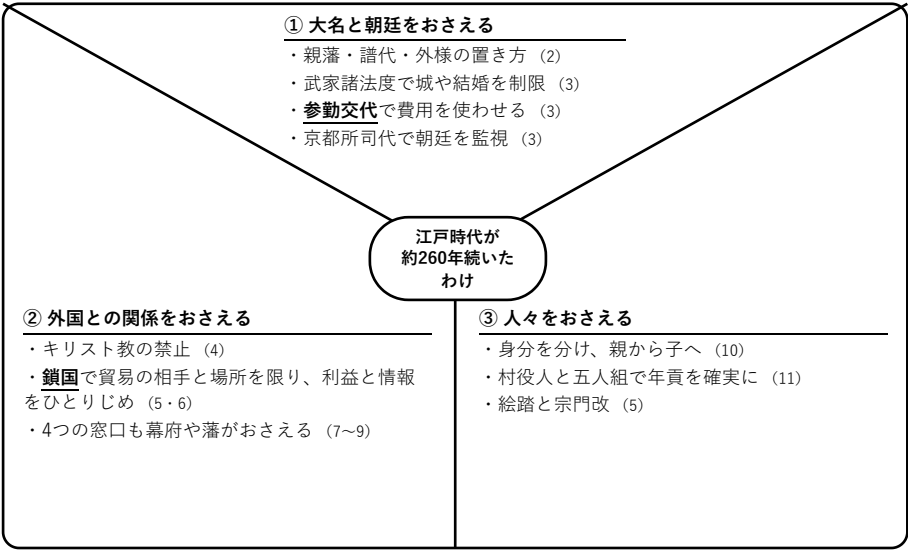
12

なぜ、江戸時代は約260年も続いた？

このページのゴール

2～11ページをYチャートで整理して、1ページの問いに答えられる

① Yチャートでまとめる



() の数字は、くわしく学んだページです。

② 年表

年	できごと	年	できごと
1600年	関ヶ原の戦い	1637年	島原・天草一揆
1603年	家康が江戸幕府を開く	1639年	ポルトガル船の来航禁止
1609年	薩摩藩が琉球王国を征服	1641年	オランダ商館を出島へ
1613年	全国でキリスト教を禁止	1643年	田畑の売り買いを禁止
1615年	大阪の陣・武家諸法度	1669年	シャクシャインの戦い
1635年	参勤交代・海外渡航の禁止		

③ 問いの答えの例

幕府は、親藩・譜代・外様の置き方や武家諸法度・参勤交代で大名の力を弱めました。キリスト教を禁じ、鎖国で外国との行き来と貿易を自分の手でおさえ、利益と海外の情報をひとりじめしました。人々を身分で分け、村役人や五人組を通じて年貢を確実に取り立てました。こうして幕府に反抗できる力が育ちにくく、江戸時代は約260年続きました。

江戸時代が続いたわけ：大名・外国・人々をおさえるしくみが、幕府に反抗できる力を育てなかった

確認問題① 幕府のしくみ・鎖国への道

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 江戸幕府のしくみについて答えなさい。【2・3ページ】

- (1) 1600年、徳川家康が、豊臣氏の政権を守ろうとした石田三成らを破った、天下分け目の戦いを何とといいますか。 _____
- (2) 将軍と大名が、全国の土地と人々を支配したしくみを何とといいますか。 _____
- (3) 譜代大名の説明として正しいものを選びなさい。
ア 1600年のころから徳川家に従った大名
イ 徳川家の一族にあたり、親戚の関係にある大名
ウ 1600年より前から徳川家の家臣だった大名
エ 将軍の直接の家臣で、1万石に満たない武士 _____
- (4) 1615年に幕府が定めた、大名が守る決まりを何とといいますか。城の修理には届け出が要り、許可のない結婚が禁じられました。 _____
- (5) 参勤交代について正しいものを選びなさい。
ア 初代将軍の徳川家康が定め、大名は江戸に行く必要がなかった
イ 3代将軍の徳川家光が定め、大名は多くの費用を使った
ウ 大名は江戸に住み続け、領地にもどることは禁じられた
エ 親藩の大名だけが、1年おきに領地と江戸を行き来した _____
- (6) 幕府が、大名が新しく城を築くことを禁じ、修理にも届け出をさせたのはなぜですか。「反抗」「戦い」の2つの語を使って書きなさい。

2 鎖国への道について答えなさい。【4・5ページ】

- (1) 朱印船貿易がさかんになり、東南アジアの各地に日本人が移り住んでできた町を何とといいますか。 _____
- (2) 幕府がキリスト教を禁止したわけとして正しいものを選びなさい。
ア 仏教の寺に集まる信者の数が減り、寺の力が弱まってしまったから
イ 朝廷がキリスト教を国の宗教にしようとして、幕府と対立したから
ウ 貿易の相手だったイギリスが、禁止するように幕府へ強く求めたから
エ 信者の団結や、スペインやポルトガルによる侵略をおそれたから _____
- (3) キリシタン大名の領地だった所で、1637年、キリスト教の信者を中心とする人々が原城にたてこもった一揆を何とといいますか。 _____
- (4) キリストやマリアの像をふませて、キリスト教の信者を見つけ出したことを何とといいますか。 _____
- (5) 人々を仏教の寺に属させ、キリスト教の信者でないことを寺に証明させたしくみを何とといいますか。 _____
- (6) 幕府が、日本人の海外への渡航を禁じ、貿易の相手と場所を限ったねらいを、「キリスト教」「利益」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題② 長崎と朝鮮・琉球とアイヌ

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

3 長崎と朝鮮について答えなさい。【6・7ページ】

- (1) 長崎の港につくられた扇形の埋め立て地で、1641年から平戸のオランダ商館が移された所を何といいますか。 _____
- (2) 1689年から、長崎に来た中国の商人を住ませた所を何といいますか。 _____
- (3) 鎖国の中の長崎の貿易で、日本がおもに輸入した物を選びなさい。
ア 銀や銅などの金属
イ 生糸や絹織物、砂糖、薬、書物
ウ 米や塩、しょうゆなどの食料
エ 鉄砲や火薬、大砲などの武器 _____
- (4) 将軍が代わるごとなどに、朝鮮から江戸へ送られ、各地で歓迎された使節を何といいますか。 _____
- (5) 江戸時代の朝鮮との関係として正しいものを選びなさい。
ア とだえた国交が回復し、釜山の倭館で貿易が行われた
イ 朝鮮とは国交がないまま、長崎で中国船が仲立ちして貿易が行われた
ウ 朝鮮の使節は長崎までしか来られず、江戸には行けなかった
エ 朝鮮は清の一部になり、使節は清から送られてきた _____
- (6) 鎖国の中で、幕府がオランダ商館長に、外国のできごとを報告書にして出させたのはなぜですか。「海外」「情報」の2つの語を使って書きなさい。

4 琉球とアイヌについて答えなさい。【8・9ページ】

- (1) アイヌの人々が住んでいた、今の北海道をさす、江戸時代のよび名を何といいますか。 _____
- (2) 薩摩藩の支配を受けた後の琉球王国のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 日本の大名の一つとして、江戸に屋敷をあたえられた
イ 清の一部になり、江戸に使節を送ることはなくなった
ウ 国として残され、中国への朝貢と貿易を続けた
エ オランダが商館を置いて、国の政治を支配した _____
- (3) アイヌの人々の文化として正しいものを選びなさい。
ア 口伝えの物語や木彫りの文様が受けつがれ、アイヌ語の地名が残る
イ かな文字で物語や日記が書かれ、貴族の間で広まった
ウ 中国風の服装をした使節が、将軍にあいさつに行った
エ 出雲の阿国が、京都の河原でかぶき踊りを始め、評判になった _____
- (4) 1669年、不利な取引に反対して、アイヌの人々を率いて戦った首長はだれですか。 _____
- (5) 江戸時代のアイヌの人々の交易のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 取引は銀で行われ、アイヌの人々に有利な条件で進んだ
イ 幕府の命令で交易そのものが禁じられ、取引は行われなかった
ウ 長崎に出向いて、オランダの商人と直接取引をした
エ さけやこんぶを米や鉄製品と交換したが、不利な取引が多かった _____
- (6) 薩摩藩が、琉球王国を国として残し、中国への朝貢を続けさせたのはなぜですか。「中国」「利益」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題③ 身分と暮らし・年表とまとめ

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

5 身分と暮らしについて答えなさい。【10・11ページ】

- (1) 有力な百姓から選ばれ、村を運営して年貢を集めて納めた、村役人の中心を何といいますか。 _____
- (2) 五人組がつくられたねらいとして正しいものを選びなさい。
ア 武士が百姓の田畑を代わりに耕して、収穫を分けるため
イ 年貢の納入や犯罪の防止に、連帯して責任を負わせるため
ウ 百姓に刀を持たせて、村を自分たちで守らせるため
エ 商人に商売の税を免除して、城下町を栄えさせるため _____
- (3) 田畑をもち、年貢を納めた百姓を何といいますか。 _____
- (4) 江戸時代の身分について正しいものを選びなさい。
ア 身分は親から子へ受けつがれ、変えることはむずかしかった
イ 百姓も名字を名のり、刀を差すことが認められた
ウ 武士は村に住み、自分で田畑を耕して年貢を納めた
エ 人口の大部分は武士で、百姓はごく一部だった _____
- (5) 城下町などに住み、商売をしたり物をつくったりした人々の身分を何といいますか。 _____
- (6) 江戸時代の村で、百姓たちが村の決まりをつくり、共同で仕事をしたのはなぜですか。「田植え」「用水」の2つの語を使って書きなさい。

- (7) えた身分やひにん身分とされた人々は、住む所や服装、交際などで、どのような扱いを受けましたか。簡単に書きなさい。 _____
- (8) 幕府や藩は、人々を身分で分け、身分ごとに何を決めて社会を治めましたか。 _____

6 年表とまとめについて答えなさい。【1・10・11・12ページ】

- (1) 次のできごとを、古い順に並べなさい。 _____
ア 全国でキリスト教が禁止された イ シャクシャインの戦いが起こった
ウ 薩摩藩が琉球王国を征服した エ 島原・天草一揆が起こった
- (2) 江戸幕府が開かれた年を選びなさい。
ア 1590年 イ 1600年 ウ 1603年 エ 1615年 _____

なぜ江戸時代は約260年続いた？ ― Yチャートの一部

- ① (A) で、大名に多くの費用を使わせた
② (B) で、貿易の相手と場所を限り、利益と海外の情報をひとりじめした

- (3) 上の文の A に入る語を書きなさい。 _____ (4) 上の文の B に入る語を書きなさい。 _____
- (5) 江戸時代が約260年続いたのはなぜですか。人々（百姓）の治め方の面から、「身分」「村」の2つの語を使って書きなさい。

- (6) 1635年のできごととして正しいものを選びなさい。
ア 日本人の海外への渡航と帰国が禁止された イ ポルトガル船の来航が禁止された
ウ 平戸のオランダ商館が出島に移された エ 全国でキリスト教が禁止された _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

江戸幕府の成立と大名（2ページ）

徳川家康・石田三成・関ヶ原の戦い（1600年）・征夷大将軍と江戸幕府（1603年）・大阪の陣（1615年）・江戸時代（1603～1867年）。幕領（重要な都市・鉱山を直接支配、貨幣をつくる）・旗本と御家人（将軍の直接の家臣・1万石に満たない）。大名（1万石以上）・藩・幕藩体制（将軍と大名が全国の土地と人々を支配）。親藩（徳川家の一族・御三家＝尾張・紀伊・水戸）と譜代大名（関ヶ原の戦いより前からの家臣・江戸の近くや重要な所）と外様大名（関ヶ原の戦いのころから従った・江戸から遠い所に多い）。

大名と朝廷のおさえ方（3ページ）

武家諸法度（1615年・大名が守る決まり・城の修理の届け出と新しい城の禁止・許可のない結婚の禁止・ねらいは反抗を防ぐこと）・改易。参勤交代（1635年・徳川家光・原則として1年おき・妻や子は江戸・費用が負担に）。禁中並公家中諸法度（1615年）・京都所司代・寺社奉行。老中（譜代大名から選ばれる）・大目付・町奉行・勘定奉行。

朱印船貿易と禁教（4ページ）

朱印状と朱印船貿易（東南アジアの各地）・日本町。輸入＝生糸・絹織物・砂糖・鹿の皮／輸出＝おもに銀。ポルトガル・スペイン（カトリック）、オランダ（1609年）・イギリス（1613年）の商館（平戸・プロテスタント）。禁教令（1612・1613年）。

鎖国への道（5ページ）

1613年 全国でキリスト教を禁止→1616年 ヨーロッパの船を平戸と長崎に限る→1624年 スペイン船の来航禁止→1635年 日本人の海外渡航と帰国を禁止→1637年 島原・天草一揆（天草四郎・原城）→1639年 ポルトガル船の来航禁止→1641年 出島。絵踏・宗門改。鎖国の2つのねらい（キリスト教の禁止の徹底・貿易の利益と海外の情報をひとりじめ）。

長崎と朝鮮（6・7ページ）

出島（1641年から平戸のオランダ商館）・オランダが許されたわけ（布教をせず貿易だけ）・オランダ風説書・唐人屋敷（1689年から）・長崎の貿易品（輸入＝生糸・絹織物・砂糖・薬・書物／輸出＝おもに銀・銅）。朝鮮通信使・対馬藩と倭館（釜山）。4つの窓口（長崎・対馬藩＝朝鮮・薩摩藩＝琉球王国・松前藩＝アイヌの人々）。

琉球とアイヌ（8・9ページ）

琉球王国と薩摩藩（1609年・征服・朝貢と貿易を続けさせ利益を得る）・琉球使節（幕府の権威を高める）。蝦夷地・アイヌの人々と松前藩（交易の独占・不利な取引）・シャクシャインの戦い（1669年）。アイヌの文化（アイヌ語・ユーカラ・文様）・2019年の法律・2020年のウボボイ。

身分と暮らし（10・11ページ）

武士・百姓・町人（名字と帯刀・年貢・町の負担）・身分は親から子へ・差別された人々。本百姓と水のみ百姓・村役人（庄屋〈名主〉・組頭・百姓代）・年貢（村ごとに納める）・五人組（連帯責任）・田畑の売り買いの禁止（1643年）。

年表（12ページ）

年	できごと	年	できごと
1600年	関ヶ原の戦い	1637年	島原・天草一揆
1603年	家康が江戸幕府を開く	1639年	ポルトガル船の来航禁止
1609年	薩摩藩が琉球王国を征服	1641年	オランダ商館を出島へ
1613年	全国でキリスト教を禁止	1643年	田畑の売り買いを禁止
1615年	大阪の陣・武家諸法度	1669年	シャクシャインの戦い
1635年	参勤交代・海外渡航の禁止		

合言葉

一族は親藩、古い家来は譜代、新しく従った外様／法度で城と結婚、参勤交代でお金を使わせる／朱印状で東南アジアへ、日本町ができる／禁教 → 一揆 → ポルトガル船の来航禁止 → 出島／オランダは出島、中国は唐人屋敷／朝鮮は対馬、琉球は薩摩、アイヌは松前／1609年、薩摩が琉球を従える／1669年、シャクシャインが立ち上がる／武士は政治、百姓は年貢、町人は商い／村役人が集めて、五人組で連帯

確認問題の答えと解説

1【2・3ページ】

(1) 関ヶ原の戦い (2) 幕藩体制
(3) ウ (4) 武家諸法度
(5) イ
(6) (例) 大名が城を固めて、幕府と戦ったり反抗したりするのを防ぐため。
1600年、家康が石田三成らを破った天下分け目の戦いが関ヶ原の戦いです。将軍と大名が全国の土地と人々を支配したしくみが幕藩体制です。譜代大名は、1600年より前から徳川家の家臣だった大名です（アは外様大名、イは親藩、エは旗本や御家人の説明です）。1615年に定められ、城の修理の届け出と許可のない結婚の禁止を決めた、大名が守る決まりが武家諸法度です。参勤交代は、3代将軍の徳川家光が制度として定め、大名は往復や江戸での生活に多くの費用を使いました（家康が定めたのではなく、大名は領地と江戸を行き来しました）。記述の採点のめやす：「反抗」「戦い」の両方を使って、大名が城を固めるのを防ぐねらいが書けていれば正解。【2・3】

2【4・5ページ】

(1) 日本町 (2) エ
(3) 島原・天草一揆
(4) 絵踏 (5) 宗門改
(6) (例) キリスト教の禁止を徹底することと、貿易の利益を幕府がひとりじめして、大名が力をつけるのを防ぐこと。
朱印船貿易がさかんになると、東南アジアの各地に日本人が移り住み、日本町ができました。幕府は、信者が団結して命令に従わなくなることや、スペインやポルトガルが布教を通じて日本を侵略することをおそれて、キリスト教を禁止しました（寺の数や朝廷、イギリスは理由ではありません）。キリシタン大名の領地だった島原と天草で、人々が原城にたてこもったのが島原・天草一揆です。キリストやマリアの像をふませて信者を見つけたのが絵踏、人々を寺に属させ信者でないことを証明させたのが宗門改です。記述の採点のめやす：「キリスト教」「利益」の両方を使って書けていれば正解（もう1つのねらいは、貿易の利益と海外の情報の独占）。【4・5】

3【6・7ページ】

(1) 出島 (2) 唐人屋敷
(3) イ (4) 朝鮮通信使
(5) ア
(6) (例) 幕府が、海外の情報を知り、ひとりじめするため。
長崎の港につくられた扇形の埋め立て地が出島で、1641年から平戸のオランダ商館が移されました。1689年から中国の商人を住ませたのが唐人屋敷です。長崎の輸入品は生糸・絹織物・砂糖・薬・書物などで、銀や銅はおもに輸出しました。朝鮮から江戸へ送られた使節が朝鮮通信使です。秀吉の侵略でとだえた国交は、家康が対馬藩の仲立ちで回復し、朝鮮の釜山に置かれた倭館で貿易が行われました。記述の採点のめやす：「海外」「情報」の両方を使って書けていれば正解。【6・7】

4【8・9ページ】

- (1) 蝦夷地 (2) ウ
(3) ア (4) シャクシャイン
(5) エ
(6) (例) 中国との朝貢と貿易を続けさせ、その利益を得るため。

アイヌの人々が住んでいた、今の北海道をさす江戸時代のよび名が蝦夷地です。薩摩藩は、琉球王国を国として残し、中国への朝貢と貿易を続けさせました（江戸には使節を送り続けました）。アイヌ文化では、口伝えの物語や木彫り・刺しゅうの文様が受けつがれ、アイヌ語から来た地名が多く残っています（かな文字の文学は貴族の文化、中国風の使節は琉球、かぶき踊りは出雲の阿国です）。1669年に不利な取引に反対して戦った首長がシャクシャインです。アイヌの人々は、さけやこんぶ・毛皮などを米や鉄製品などと交換しましたが、不利な取引が多くありました。記述の採点のめやす：「中国」「利益」の両方を使って書けていれば正解。【8・9】

5【10・11ページ】

- (1) 庄屋（名主）（どちらでも正解）
(2) イ (3) 本百姓
(4) ア (5) 町人
(6) (例) 田植えや用水路の管理は一人ではできず、村の人々が共同で行う必要があったから。
(7) きびしく差別された (8) 役割と負担

有力な本百姓から選ばれた村役人の中心が庄屋（名主）です。五人組は、年貢を納めることや犯罪を防ぐことに連帯して責任を負わせるためにつくられました。田畑をもち年貢を納めたのが本百姓です。江戸時代の身分は親から子へ受けつがれ、変えることはむずかしく、名字・帯刀が認められたのは武士で、百姓が人口の大部分でした。城下町などに住み、商業や物づくりをしたのが町人です。えた身分やひにん身分とされた人々は、住む所や服装、交際などできびしく差別されましたが、農業や皮革の仕事、役人の下働き、芸能などで社会を支えました。幕府や藩は、身分ごとに役割と負担を決めて社会を治めました。記述の採点のめやす：「田植え」「用水」の両方を使って、共同で行ったわけが書けていれば正解。【10・11】

6【1・10・11・12ページ】

- (1) ウ → ア → エ → イ
(2) ウ (3) 参勤交代
(4) 鎖国
(5) (例) 人々を身分で分け、村のしくみを通じて年貢を確実に取り立てたから。
(6) ア

並べかえは、1609年の薩摩藩の琉球征服 → 1613年の全国でのキリスト教の禁止 → 1637年の島原・天草一揆 → 1669年のシャクシャインの戦いの順です。江戸幕府が開かれたのは1603年です（1600年は関ヶ原の戦い、1615年は大阪の陣）。1635年は、日本人の海外への渡航と帰国が禁止された年です（ポルトガル船の来航禁止は1639年、出島への移転は1641年、全国での禁教は1613年）。①は、大名に往復や江戸での生活の費用を使わせた参勤交代、②は、貿易の相手と場所を限った鎖国です。記述の採点のめやす：「身分」「村」の両方を使って書けていれば正解。【10・11・12】